



# ユースセーリング世界選手権大会 日本女子チームが銅メダル獲得 29er 級の市橋/後藤組。女子選手のメダル獲得は初の快挙

オランダ・ハーグで 7月 14日まで開催されていた「ユースセーリング世界選手権大会(ユースワールド)」(主催ワールドセーリング)で、日本代表 29er 級女子の市橋愛生(早稲田佐賀高等学校)/後藤凛子(横浜市立南高等学校)組が銅メダルを獲得しました。日本の女子選手がユースワールドでメダルを獲得するのは初めてです。



メダル獲得の市橋(左)/後藤組

ユースワールドは 19 歳以下のトップセーラーを対象に毎年に開催される、オリンピック出場への登竜門となる大会です。

今大会は日本の高校ヨット部で普及し国体種目にも採用されている 420(ヨンニーマル) 級や、世界で急速に拡大している 29er(トゥエンティーナイナー)級のほか、1 人乗りの ILCA6級からウインドサーフィン種目、パリ五輪で採用されたカイトボード種目など全 11 種目が実施され、69 カ国・地域から 450 人が参加しました。

日本からは男女合わせて 7 種目に計 10 人がエントリー。420 級には男子、女子の 2 チームが、また 29er 級には女子 1 チームが出場し、1 人乗りの ILCA6 級とウインドサーフィン種目のユース iQFOiL 級にはそれぞれ男子、女子が出場しました。

大会を通じて風が弱く速い潮の流れに苦戦するシーンもありましたが、日々改善を重ね ながら終盤まで粘り強く走り抜き、最後は審問にも勝った結果のメダル獲得です。





## 【29er級女子 選手のコメント】

「今大会の目標はスタートを第一線で出ることでした。スタートを成功させると持ち味のスピードを活かしたコースで前を走ることができ、とても良い経験となりました。最終日の第 1 レースは途中までトップを走ることができて楽しかったです。2 週間後の 29er 級世界選手権では、この経験を活かした良い成績を残せるように練習していきたいと思います」(市橋)

「海面は潮がとても強く、失敗したスタートも多くありましたが、それを巻き返せるボートスピードが私たちの最大の武器だったと思います。上位のメダル争いは最後の審問まで気の抜けないものとなりましたが、すべてが貴重な経験になりました。住んでいる場所が離れているので練習しにくい環境ですが、支援してくださった方々に感謝し、さらに前進していきます」(後藤)

# 【29er 級選手プロフュール】



スキッパー 市橋 愛生 いちはし まなせ 2005 年東京都生まれ 早稲田佐賀高等学校



クルー 後藤 凛子 ごとう りんこ 2005 年神奈川県生まれ 横浜市立南高等学校



また今大会では、420級の男女も入賞する健闘を見せ、ユースセーリング世界選手権大会において、日本チームとして3クラス同時入賞という初の快挙を達成しました。





## 【帯同コーチコメント】

「まず、難しいコンディションの中で、世界の強豪たちと渡り合い結果を残した選手たちを称えたいと思います。また、保護者・学校の先生をはじめ関係者の皆様の常日頃からので、一人に感謝申し上げます。今回は強い潮と弱い風という特殊な環境の中でのレースが多く、日本チームには追い風となった印象でした。まだまだ発展途上のチームなので、今回の経験を糧にしっかりと課題意識を持って、今後もトレーニングを積んでいってほしいと思います」(ユース統括:山田真)

## 【ユースワールド日本代表の成績】

#### 29er 女子(参加 23 艇)

1位:Amparo STUPENENGO PEFAUR / Julia PANTIN(アルゼンチン)

2位:Lucie GOUT / Fleur BABIN (フランス)

3位:市橋愛生(早稲田佐賀高等学校)/後藤凛子(横浜市立南高等学校)

#### 420 女子(参加 21 艇)

1位:Maria PERELLO MORA / Marta CARDONA ALCANTARA(スペイン)

2位: Amelie WEHRLE / Amelie RINN (ドイツ)

3位:Camilla MICHELINI / Margherita BONIFACCIO(イタリア)

6位:出口愛海(霞ヶ浦高等学校)/ 宮本あかり(霞ヶ浦高等学校)



## 420 男子・混合 (参加 23 艇)

1位: Freddle PARKIN / Asher BECK (アメリカ)

2位:Roi LEVY / Ariel GAL (イスラエル)

3位:Ema SAMARZIJA / Leon SCHEIDL (クロアチア)

7位:早川大翔(霞ヶ浦高等学校)/ 鈴木海翔(霞ヶ浦高等学校)

# ILCA6 男子(参加 61 艇)

1位:Rocco Wright (アイルランド)

2位: Sebastian KEMPE (バミューダ)

3位: Ole Schweckendiek (ドイツ)

45 位:西村拓真 (関東学院高等学校)

### ILCA6 女子(参加 56 艇)

1位:Eve McMAHON (アイルランド)

2位:Evie SAUNDERS (オーストラリア)

3位:Roos WIND (オランダ)

38 位:小山すみれ(郁文館高等学校)

# iQ FOiL Youth 男子(参加 31 艇)

1位: Charlie DIXON (イギリス)

2位: Hidde van der MEER (オランダ)

3位: Nacho BALTASAR SUMMERS (スペイン)

14位:穴見賢太(大分県立国東高等学校)

# iQ FOiL Youth 女子(参加 29 艇)

1位:Tamar STEINBERG(イスラル)

2位: Merve VATAN (トルコ)

3位:Lina ERZEN (スロベニア)

15位:佐伯紗菜(横浜修悠館高等学校)





日本代表選手団

※写真のダウンロードはこちら→JSAF 広報委員会 DropBox

または  $https://www.dropbox.com/sh/vtdw3palajwwu9z/AAC4yru9_ZggtnnvByBopVsAa?dl=0$ 

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

日本セーリング連盟広報委員会 Email: kohou@jsaf.or.jp https://www.jsaf.or.jp/ http://jsaf-osc.jp/